

朝晩の涼しさや、空飛ぶとんぼに秋の気配を感じるようになりました。しかしまだまだ日中は暑い日が多く、夏の余韻を残しています。水分補給をしっかりと行いながら、残暑を乗り越えていきたいと思えます。

手足口病流行中

感染状況表やらくらくメールでもお伝えしていますが、先月より園内で手足口病が流行しています。夏場に流行する事が多いのは、原因となる手足口病のウイルスが「高温多湿」の環境を非常に好む性質を持っているからだそうです。日本の夏はウイルスにとって活動・増殖するのに最適な条件が揃っているため、一気に生存・拡散しやすくなります。園でもやはり、例年この時期の流行が多くみられます。

感染経路としては、飛沫感染・接触感染・糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること)します。飛沫感染では、咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによって感染したり、接触感染では破れた水泡や便に排泄されたウイルスを手を介して口や目の粘膜から感染する場合があります。そのためマスクなどの予防が難しい乳幼児の感染が多いようです。

手や足だけでなく、お尻や太ももの付け根、顔に発疹が出る場合があります。就寝前や起床後などそのような発疹が見られた時は、登園前に小児科の受診をお願いします。口の中にも水泡ができ食事の際に染みて食べられないというお子さんも多く見られました。その際は、しっかりと食事が摂れる様になってからの登園をお願いしています。予防策としては、手洗い・消毒の他、症状が治るまで休むことで他の子ども達への感染拡大を防ぐとのことですので、食事同様ご協力よろしくお願いいたします。

これから寒くなると感染性の病気の流行が増えます。生活リズムを整え、栄養をしっかりと摂ること。そして大人と同様、子どもも疲れたら休息が必要です。

元気に次の季節を乗り越えられるよう、いまのうちから準備をしていきましょう。

9月1日は防災の日です。近年様々な自然災害・事件・事故がおこっています。園では毎月必ず、地震や家事等、様々な場合を想定して避難(防災)訓練を実施しています。万が一の場合に備えて、食料、水、毛布、簡易トイレなど様々な備蓄しています。ご家庭でも、非常食や水、ラジオや懐中電灯などの準備をしておきましょう。

この機会にお子さんと、地震や家事などの災害が起きた場合の身の守り方、どのような行動をとるかなど話しておくのもいいかもしれません。

9月9日は

救急の日です。

お家の中にも事故や怪我を招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために確認してみましょう。

- 子どもの手の届く場所に置いてはいけない物を置かない
薬・洗剤・たばこ・ライター・ポット・炊飯器・包丁・ヘアアイロン・子どもの口に入るお細かい物
- コンセントをいたずらできないようにする
- 食べ物が喉に詰まらないよう注意する
- 踏み台になるものをベランダに置かない
- 子どもが一人で勝手に浴室に入れられないようにする



いりょう そうだん
こども医療でんわ相談

#8000

短縮番号#8000をプッシュすることで、都道府県の相談窓口へ自動転送され、小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられます。

step
1

例えば...



頭をぶつけた



発熱

step
2

#8000をプッシュ



step
3

医師・看護師が
電話で
アドバイス

「すぐに来院を受診しよう」や「様子を見ることが出来ます」など、お子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられます。

ヘルパンギーナやRSウイルスの感染もみられています。

ヘルパンギーナは手足口病と症状がよく似ていて診断が難しく、RSウイルスは初回感染時に重症化することが多いです。

